

1.適用範囲

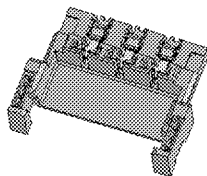
本書は、DF59-*S-2V および DF59-*P-2FC, DF59-*P-2C, DF59-*P-2SP の挿入・抜去を行う際の
手順について規定するものです。(*:極数)

本書には、本製品を安全に使用するための一般的な指針や注意事項が述べられています。本書
に書かれたことと違った方法で本製品を使用された場合、コネクタ破損等の予期せぬトラブルに繋がる
恐れがあるため、製品をご使用頂く前に必ず熟読し、十分にご理解頂くようお願いします。

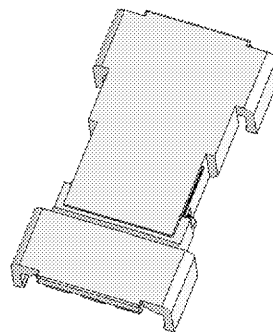
また、DF59-*P-2FC については独自のフローティング構造を有しているため、挿抜手順には特に
ご注意頂くと共に、本製品を実際にご使用する方のお手元に必ず届くようにお取り計らい下さい。

2.コネクタ品名

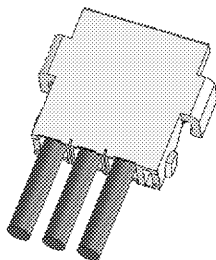
品 名	名 称
DF59-*S-2V	レセプタクル
DF59-*P-2FC	フローティングプラグ
DF59-*P-2C	圧着プラグケース
DF59-22PCFA	圧着プラグ端子
DF59-*P-2SP	ショートピン



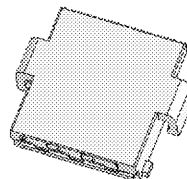
DF59-3S-2V



DF59-3P-2FC



DF59-3P-2C
+DF59-22PCFA(電線付)



DF59-3P-2SP

図 1. DF59 コネクタ (3 芯)

	COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE												
△	4	DIS-H-005449	KT.ISHII	OM.MIYAMOTO	11.01.08												
名 称 TITLE			HRS HIROSE ELECTRIC CO., LTD. <table><tr><td>APPROVED</td><td>KI.AKIYAMA</td><td>10.10.25</td></tr><tr><td>CHECKED</td><td>OM.MIYAMOTO</td><td>10.10.22</td></tr><tr><td>DESIGNED</td><td>KT.ISHII</td><td>10.10.22</td></tr><tr><td>WRITTEN</td><td>KT.ISHII</td><td>10.10.22</td></tr></table>			APPROVED	KI.AKIYAMA	10.10.25	CHECKED	OM.MIYAMOTO	10.10.22	DESIGNED	KT.ISHII	10.10.22	WRITTEN	KT.ISHII	10.10.22
APPROVED	KI.AKIYAMA	10.10.25															
CHECKED	OM.MIYAMOTO	10.10.22															
DESIGNED	KT.ISHII	10.10.22															
WRITTEN	KT.ISHII	10.10.22															
DF59 挿抜手順書																	
技 術 指 定 書 TECHNICAL SPECIFICATION			ATAD-H0496		△ 1 / 8												

3. DF59-3P-2FC 作業手順

3-1.挿入

3-1-a.挿入位置合わせ

フローティングプラグの A 部を指でつまみ、レセプタクルの B 部を目標に位置決めします。

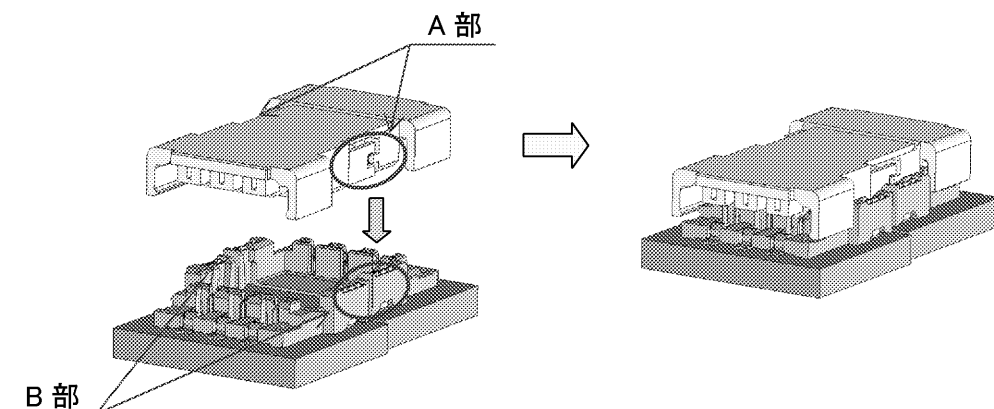
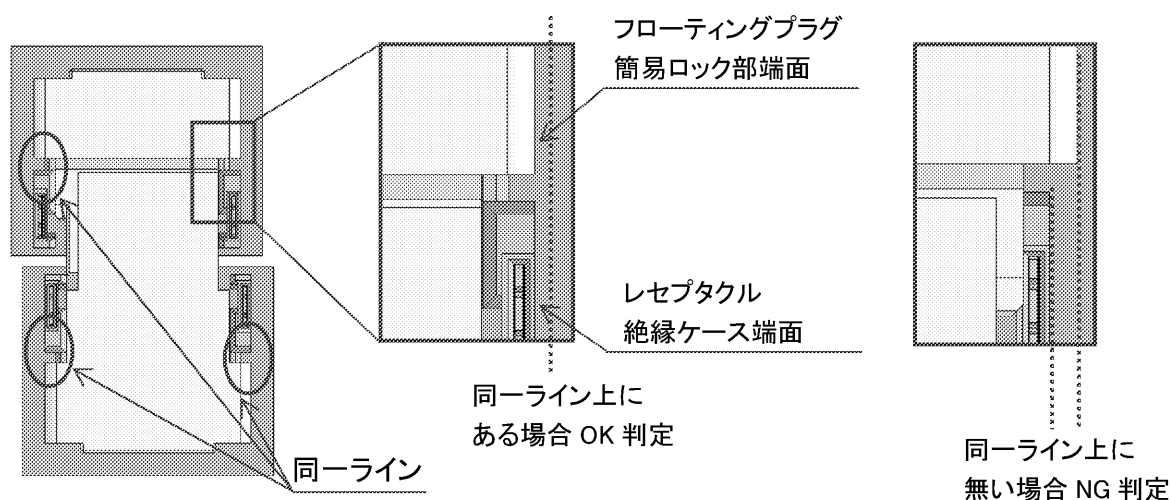


図 2. 挿入位置合わせ方法

対向するレセプタクルの上にフローティングプラグをセットし、位置決めを行います。フローティングプラグ簡易ロック部端面とレセプタクル絶縁ケース端面が同一ライン上に並ぶ様に位置決めを行います。

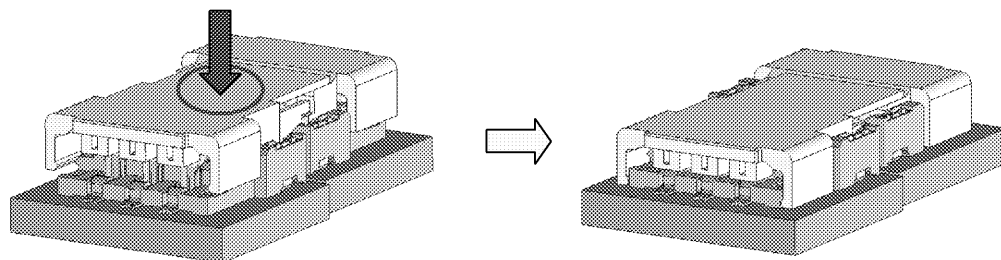


注) 位置決めせずに無理な嵌合をした場合、端子変形等の不具合を引き起こす可能性がありますのでご注意ください。

図 3. 挿入位置決め方法

3-1-b.本挿入

フローティングプラグの中央部を押して挿入します。



注) フローティングプラグの挿入は、レセプタクルに突き当たるまで押して下さい。

図 4. 本挿入方法

3-1-c. 嵌合確認

フローティングプラグが確実に嵌合されていることを確認下さい。
斜めに嵌合されている場合は、一度嵌合を外して再度嵌合し直して下さい。
嵌合の外し方は 3-2. 抜去をご確認下さい。

【正常な嵌合状態】

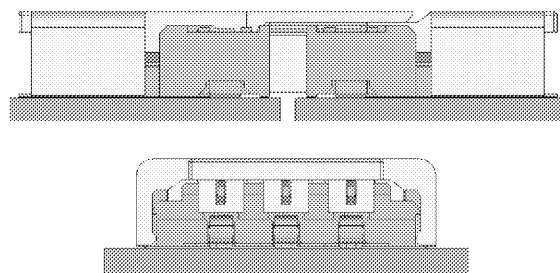
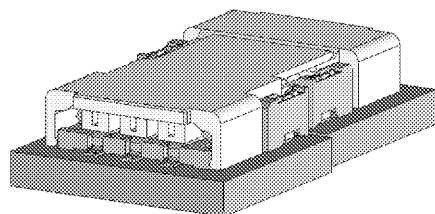


図 5. 嵌合確認

3-2. 抜去

3-2-a. 抜去-1

引き上げ用突起に指を引掛けて、上方向へ持ち上げて簡易ロックを解除して下さい。
なお、抜去についてはプラグケース(1)、プラグケース(2)どちら側からも可能です。
注) 簡易ロックが外れるまでフローティングプラグ引き上げ用突起を持ち上げて下さい。

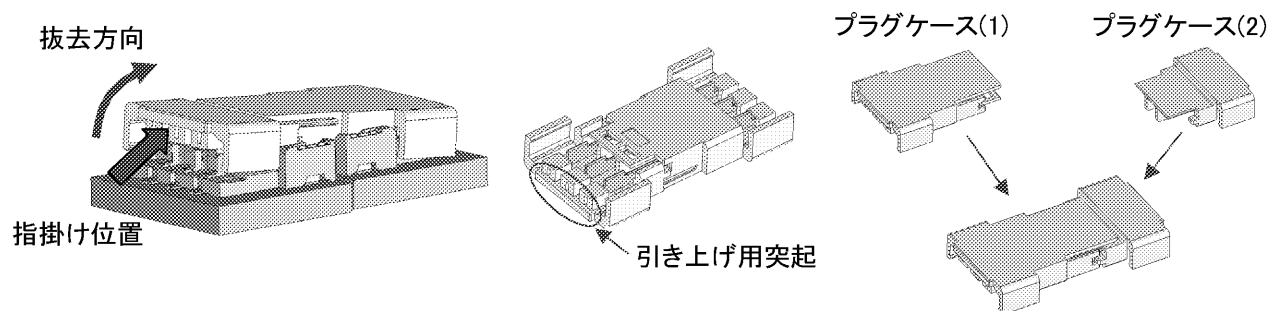


図 6. 抜去方法-1

抜去時は、引き上げ用突起の端での作業は避け、中央付近を操作し、全体に力が均一になるようにして下さい。



図 7. 抜去引っ掛け位置

3-2-b. 抜去-2

一方のフローティングプラグを抜去した後に、反対側のフローティングプラグの引き上げ用突起に指を掛け、簡易ロックを外します。

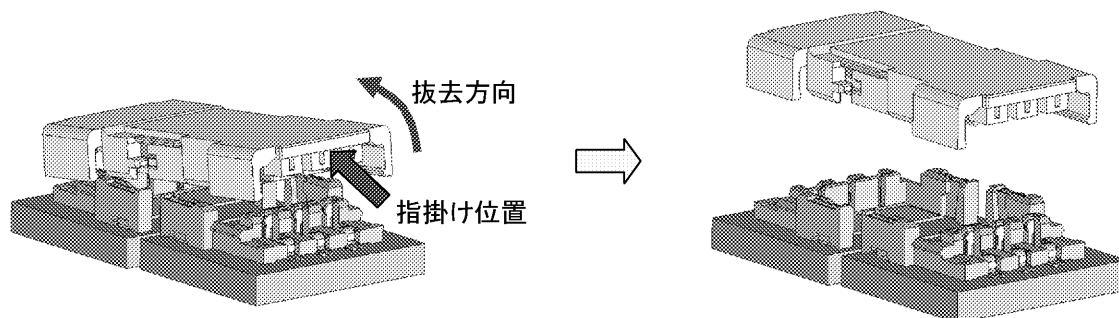


図 8. 抜去方法-2

4. DF59-3P-2C 作業手順

4-1.挿入

4-1-a.挿入位置合わせ

圧着プラグケース端面とレセプタクル溝を目安にして、製品ピッチ方向の中心がほぼ合う様に位置合わせを行って下さい。

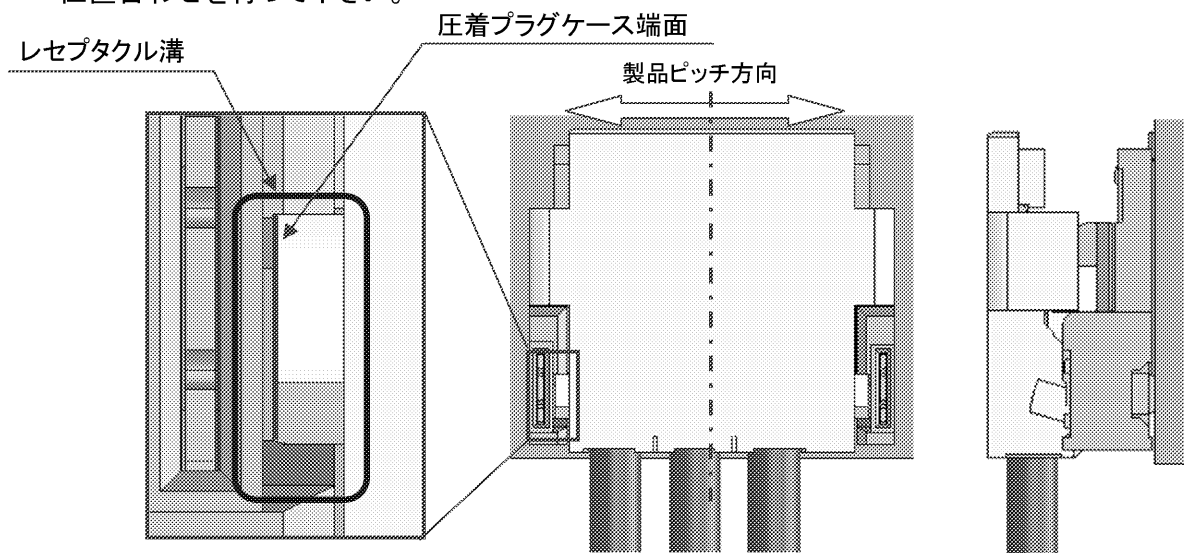


図 9.挿入位置合わせ方法

4-1-b.仮挿入

圧着プラグケースの電線側を挿入方向に押し、圧着プラグケースを斜めの状態にして下さい。

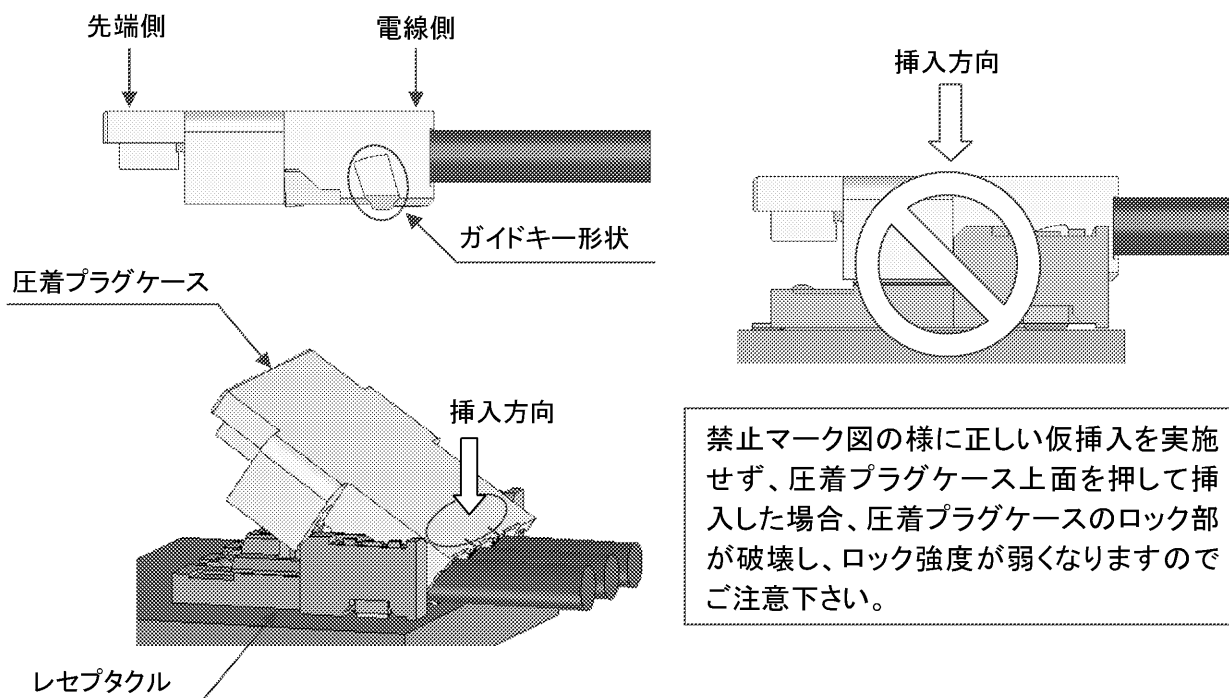


図 10.仮挿入方法

4-1-c.本挿入

圧着プラグケースの電線側が浮かないように押さえ付けながら、先端側を押して挿入して下さい。
(電線側が浮いてしまうと、ロックが掛からない恐れがあります。)

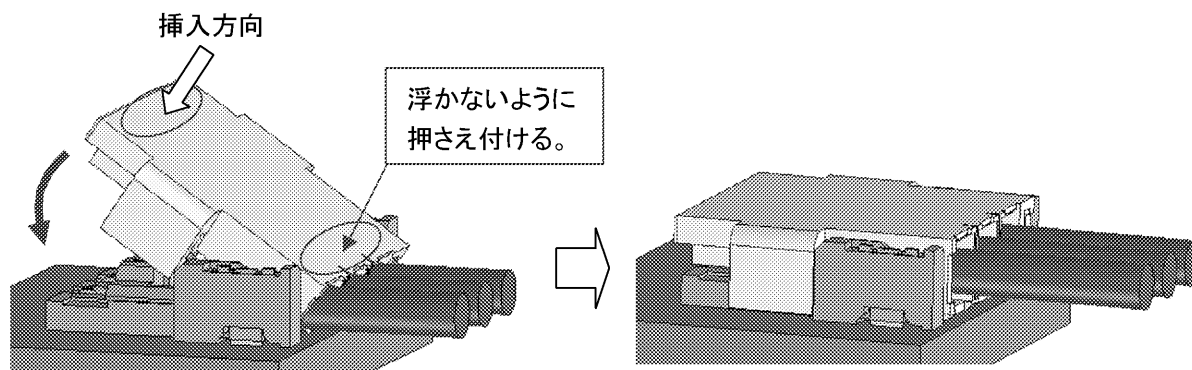


図 11.本挿入方法

嵌合時は中央部付近を操作し、全体に力が均一になるように作業して下さい。
(端子No.1 側及び、反対側に力が片寄った状態での作業は避けて下さい。)

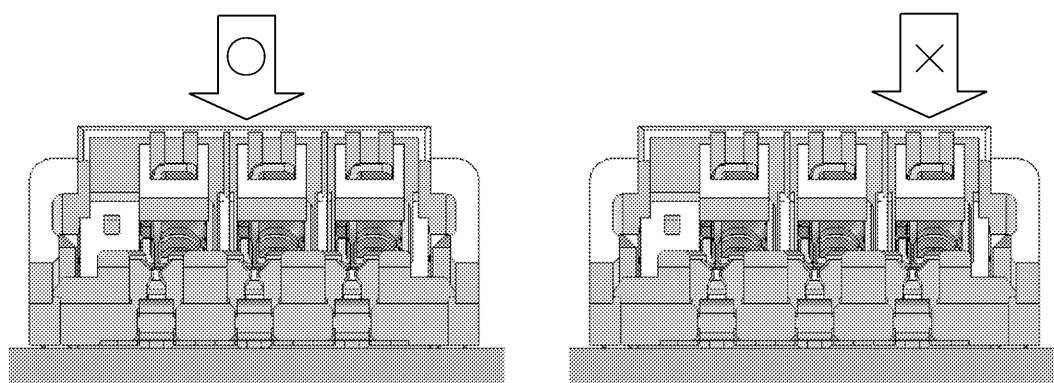


図 12.嵌合荷重位置

4-1-d.嵌合確認

圧着プラグケースが確実に嵌合されていることを確認下さい。片側が浮いたり、斜めに嵌合されている場合は、一度嵌合を外して再度嵌合し直して下さい。抜去方法は 4-2.抜去をご確認下さい。

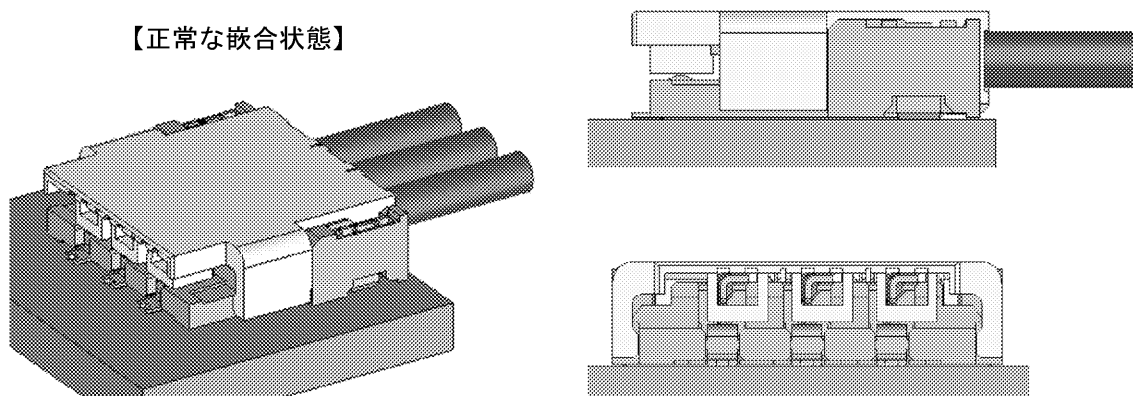


図 13.嵌合確認

4-2. 抜去

4-2-a. 抜去

引き上げ用突起に爪又は指を引っ掛け、上方向へ持ち上げてロックを解除してから抜去して下さい。

注) 引き上げ用突起を持ち上げる際、圧着ソケットの電線側を押しているとコネクタが破損する恐れがありますので、押さないようにして下さい。

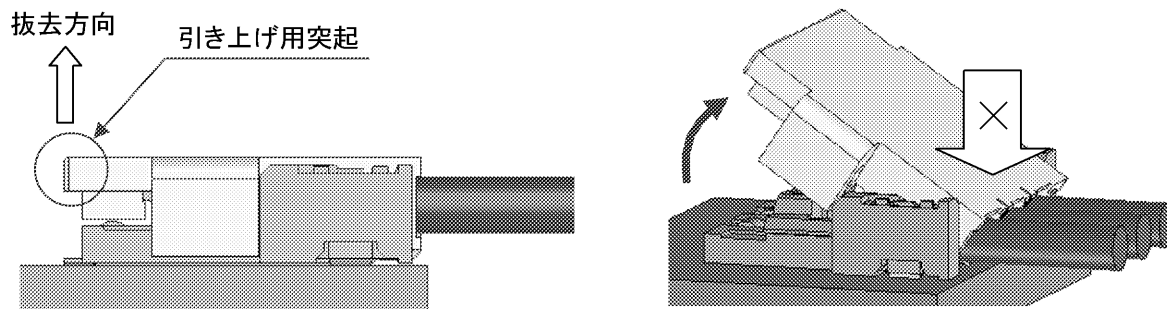


図 14. 抜去方法

抜去時は中央部付近を操作し、全体に力が均一になるように作業して下さい。
(端子No.1 側及び、反対側に力が片寄った状態での作業は避けて下さい。)



図 15. 抜去時引っ掛け位置

コネクタ抜去時には引き上げ用突起をご使用下さい。ケーブルを引っ張って抜去を行いますと断線、コネクタの破損が発生します。

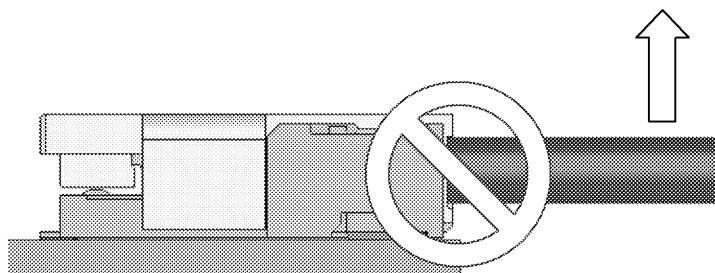


図 16. 禁止抜去方法

5. DF59-3P-2SP 作業手順

5-1. 挿入

5-1-a. 挿入位置合わせ

ショートピン端面とレセプタクル溝を目安にして、製品ピッチ方向の中心がほぼ合う様に位置合わせを行って下さい。

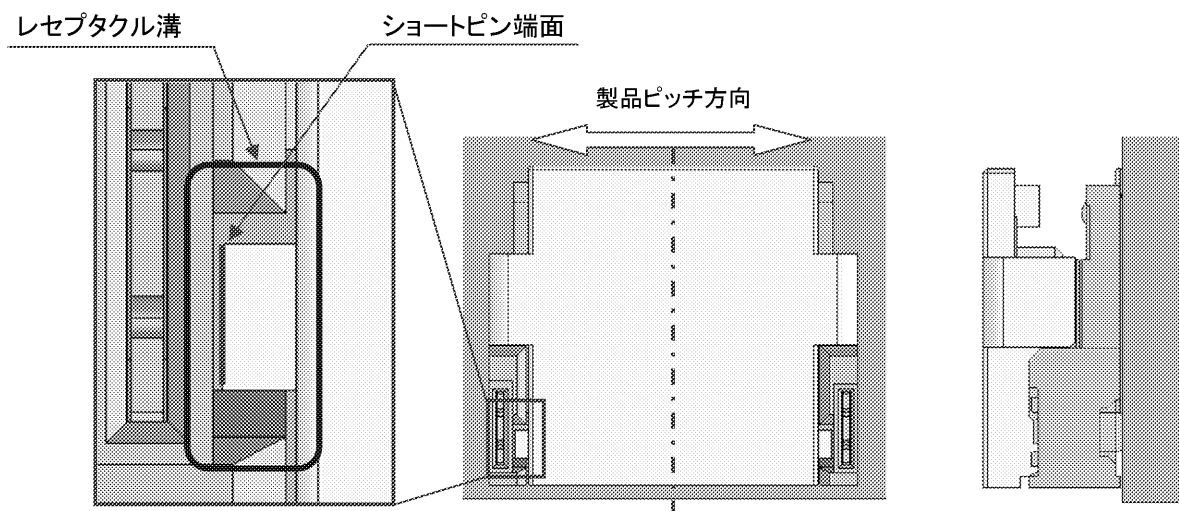
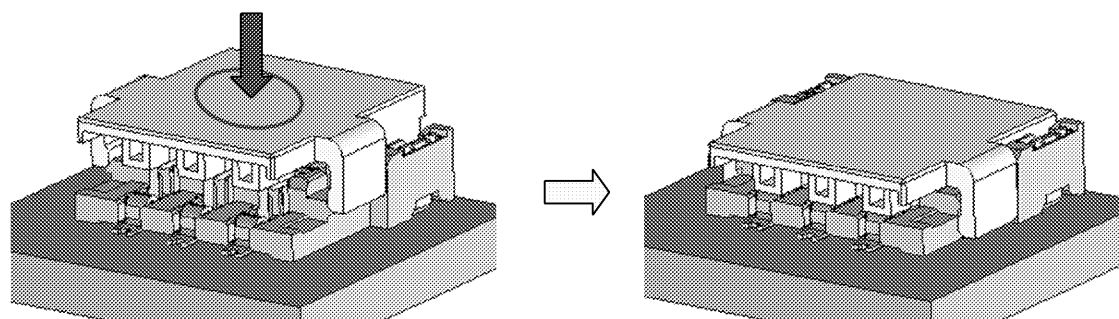


図 17. 挿入位置合わせ方法

5-1-b. 本挿入

ショートピンの中央部を押して挿入します。



注) ショートピンの挿入はレセプタクルに突き当たるまで押して下さい。

図 18. 本挿入方法

5-1-c. 嵌合確認

ショートピンが確実に嵌合されていることを確認下さい。斜めに嵌合されている場合は、一度嵌合を外して再度嵌合し直して下さい。嵌合の外し方は 5-2. 抜去をご確認下さい。

【正常な嵌合状態】

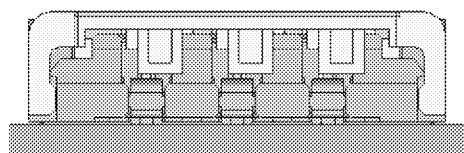
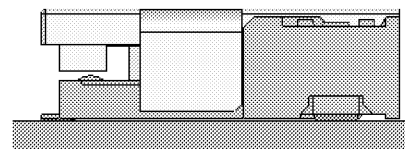
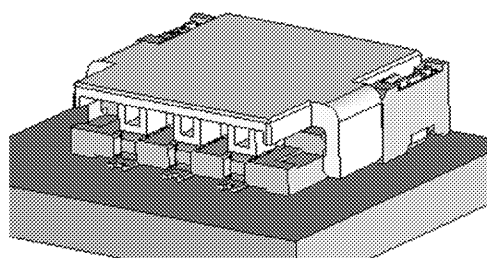


図 19. 嵌合確認

5-2. 抜去

5-2-a. 抜去

引き上げ用突起に爪又は指を引っ掛け、上方向へ持ち上げてロックを解除してから抜去して下さい。

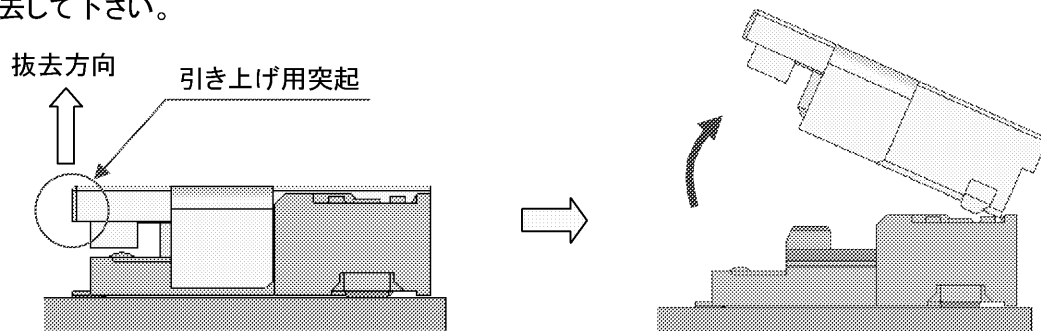


図 20. 抜去方法

抜去時は中央部付近を操作し、全体に力が均一になるように作業して下さい。
(端子No.1 側及び、反対側に力が片寄った状態での作業は避けて下さい。)

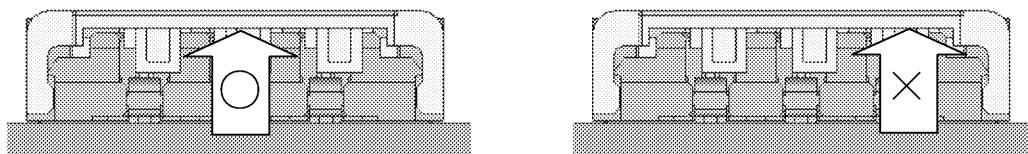


図 21. 抜去時引っ掛け位置

6. 注意事項

- ・電気を流したまま挿抜は行わないでください。
- ・コネクタに過大な外力が加わりますと、障害や破損を引き起こす場合がありますので、無理な挿抜、落下衝撃が無いようにご配慮ください。